

現代理学において数学はどのように使われるか？

現代の理学や工学では種々の数学が使われています。しかもその数学は基本的なものから非常に高度なものにまで渡っています。また、理学や工学の研究から新しい数学的結果や問題が多く現れています。

数学教室の今回のFD研修会では、理学研究科の種々の研究分野で実際に使われている数学について、具体的な研究内容と共に分かり易いお話をお願いしました。多くの教員、大学院生の参加を望みます。

日時：2008年5月7日（水）

第2限（10：40～12：30）

場所：数学講究室（本館3階3040室）（変更の可能性あり）

講演：

10：40～11：10

塩野清治 氏（生物・地球系専攻）

地質図のコンピュータ処理における離散数学の役割
-「地球情報学特論」の授業の進め方-

11：10～11：40

伊東 明 氏（生物・地球系専攻）

生態学で使われる数学的手法

11：40～12：05

神谷信夫 氏（物質・分子系専攻）

生体巨大分子科学と数学：複雑系の理解に向けて

12：05～12：30

木下 勇 氏（物質・分子系専攻）

物質合成で出会った数学？